

# 「泉南市在日外国人教育に関する指導の指針」

大阪府泉南市教育委員会

国連は、1948年に「世界人権宣言」を採択して以降、あらゆる差別や人権侵害を全世界からなくすため、国際人権規約をはじめ「子どもの権利条約」等、人権に関する諸条約を採択するとともに数多くの国際年を制定し、あらゆる機会を通じて人権が尊重される社会の実現に取り組んできた。

一方、わが国においては、日本国憲法の制定以来、憲法の保障する基本的人権の確立に向け法律や制度の整備に努め、平成12年(2000年)には「人権教育のための国連10年」の行動計画を受けた「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」を制定するなど、さまざまな条約を締結し、国際社会の一員として具体的な取り組みを進めてきたところである。

泉南市においては、平成7年(1995年)に「泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権の擁護に関する条例」を施行し、部落差別をはじめとするすべての人権問題の解決をめざし、人権行政の基盤を確立するとともに、平成12年(2000年)には「泉南市人権教育基本方針」を策定し、様々な人権問題の解決をめざした教育を人権教育として総合的に推進する基本的な考え方を示した。しかしこの基本方針は、相次ぐ差別事象の生起のなかで、平成18年(2006年)に出された平成16年度教育問題審議会答申において抜本的な見直しが提起された。これを受け、平成19年(2007年)、人権尊重のまちづくりとの一体性を確保する新たな人権教育基本方針を、平成20年(2008年)、人権教育推進プランを策定した。

しかしながら、在日外国人については、教育を受ける権利をはじめとするさまざまな権利が、今なお十分に保障されているとは言えない。

特に、歴史的経緯から何世代にもわたって日本に住み、在日外国人の中でも圧倒的に多数を占めている韓国・朝鮮人について、依然として民族的な人権侵害や差別があり、本名さえ十分に名のれない状況がある。このような状況に対し、韓国・朝鮮の人々が培ってきた豊かな文化や日本との友好の歴史に学び、在日韓国・朝鮮人について正しい理解を深めるとともに、在日韓国・朝鮮人の子どもが民族的自覚を高め、誇りを持てるような教育を推進しなければならない。また、同時に、民族的な人権侵害や差別の根絶をめざす教育の推進につとめなければならない。

一方、新たに渡日した外国人に対しても、言語・習慣・価値観等の相互理解が不十分なことから起こる偏見や差別が存在しており、子どもたちは、日本語の理解をはじめ、基本的生活習慣の確立や進路選択などにとまどいや不安を抱えている。これらの子どもたちに対して、母語や母国の生活文化、習慣が十分に理解・尊重され、民族的自覚を高めることができるような環境が保障されるとともに、すべての子どもが互いのちがいを認めあい、そのちがいを豊かさに変えていく集団づくりや共生の教育が推進されなければならない。

い。

以上のことに鑑み、すべての教育活動において人権尊重の精神に徹し、国際的な視野に立って、異なる文化、習慣、価値観等をもった人々が、それぞれのアイデンティティを保ちながら共に生きる社会の実現をめざすとともに、本市に在住するすべての子どもたちに正しい人権意識に基づく真の国際理解の態度を培い、人権教育に関する教職員の資質の向上及び外国人に対する民族的偏見や差別意識の解消をめざして、ここに指針を策定するものである。

1. すべての子どもたちが、在日外国人及びその国の文化や歴史について正しく認識できるよう指導につとめ、外国人に対する民族的偏見や差別意識の解消をめざす。特に在日韓国・朝鮮人については、日本で生活している歴史的経緯や社会的背景を正しく認識できるよう指導につとめる。
2. 在日外国人の子どもたちの実態把握につとめるとともに、保護者の理解を得ながら、これらの子どもたちが誇りと自覚を高めることができるよう指導につとめる。また、学校教育においては、学級や学年などにおいて集団づくりにつとめ、互いのちがいや権利を認めあう教育を推進する。
3. 在日外国人が本名を使用することは、アイデンティティの確立にかかわることであることから、在日外国人の子どもを学校全体で受けとめ、すべての子どもが理解できるよう指導につとめる。
4. 在日外国人の子どもたちが将来の進路を自ら選択し、自己を実現し得るよう進路指導の充実をはかるとともに、関係機関との連携を密にし、適切な指導につとめる。
5. 在日外国人教育をより効果的に推進するため、教職員の研修の深化・充実につとめる。
6. 前記の施策がより効率的に推進されるようあらゆる機会をとらえ、市民に対しても啓発活動を行うとともに、在日外国人問題について学習の機会の確保につとめる。

平成17年(2005年)8月

平成19年(2007年)3月改訂

平成20年(2008年)3月改訂